

クラス番号	907	ゼミタイプ	サービスラーニング型（NPO）
		担当教員名	野村 あすか
テーマ	子どもと家族を支える地域の「居場所」について考える		
ゼミナール概要			
【目的、内容、方法等】 私たちの住む地域には、子どもと家族を支えるための「居場所」が数多くあります。子どもたちにとっては、保育所や学校なども大切な居場所となっているはずですし、そのほかにも、たとえば放課後の子どものための居場所、何らかの理由で学校に行くことが難しくなった子どものための居場所、障害のある子どもと家族のための居場所など、さまざまなものが挙げられるでしょう。そうした居場所に集う子どもやその家族は、日々どのような思いで過ごしているのでしょうか。また、居場所作りに携わる側の方々は、どのようなことを大切にしながら子どもや家族と向き合っているのでしょうか。 このゼミでは、地域において子どもやその家族のくらしやこころを支えている「居場所」の現状や課題を学びながら、自分たちには何ができるかを考えグループごとに企画を立案していきます。そして、実際に現場に出向き、そこに集う方々の思いに触れながら、企画した活動を実践します。毎回の活動は、活動先の方々とともに丁寧に振り返り、ゼミ生同士でも共有し、発展的な研究へと結びつけていきます。最終的には、報告会にて一連の成果を発表します。これら一連の「サービスラーニング」の流れを通して、子どもや家族にとっての地域の居場所が果たす役割を捉えることや、当事者と支援者が支え合い育ち合うために必要なことは何かを発見・分析・考察し、発信する力をつけることを目標とします。			
【授業計画】 ＜前期＞ 4月～5月 活動先の紹介と選択（子どもや家族を支える NPO 法人等を予定しています） 活動先の取り組みについて調べる 6月～7月 活動の企画、活動先への事前訪問 - 夏休み 5日間の活動（活動先によっては時期が前後する場合があります） ＜後期＞ 9月 活動の振り返り、まとめ 10月～11月 研究計画の作成、グループ研究 12月～1月 グループ研究のまとめ、報告会、レポートの作成と提出			
		私の専門は、福祉の分野とも関連の深い領域である臨床心理学です。これまでには、大学にて子どものメンタルヘルスにかかわる研究を続ける傍ら、保育園の巡回指導員や小学校の心の相談員（スクールカウンセラー）、自閉スペクトラム症児を対象とした SST などを通して、何らかの支援ニーズのある子どもやその保護者、そしてさまざまな支援者の方々とかかわってきました。会うたびに成長・発達を遂げていく子どもたちの姿や、保護者や支援者の方々の生の声からは、学び考えさせられることが数多くあります。 ゼミにおいてサービスラーニングの流れを取り入れるのは今回が初めてですが、地域の中で子どもたちやその家族を支えるためにできることは何かを、みなさんとともに考えていきたいと思っています。誰もが率直に意見を出し合い学び合えるようなゼミにすることを目指していますので、みなさんの積極的な取り組みを期待しています。	